年間授業計画　様式例

# 井草　高等学校 令和７年度（１学年用） 教科　外国語　科目 英語コミュニケーションI

教　科：　外国語　　科　目：　英語コミュニケーションI　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　G　組

教科担当者：A:藤井　B:藤井　C:益子　D:藤井　E:上山　F:上山　G:益子

使用教科書：（ ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I,ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I WORKBOOK, ）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めている。
・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと 、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

科目　英語コミュニケーションI　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 英語の音声や基本的な語句・文構造を理解し、日常的な場面や身近な話題について、英語での聞き取りや発話、読解、簡単な記述ができるようにする。 | 英語によるやりとりや情報の理解を通じて、相手の意図をくみ取り、自分の考えや気持ちを文脈に応じて適切な表現で伝える力を養う。また、課題に応じて情報を整理・活用し、英語で発信する力を育成する。 | 英語を使って自分や相手を理解することの意義を実感しながら、意欲的に学習に取り組む態度を育てる。また、英語によるコミュニケーションを通して、多様な文化や価値観への理解と他者を尊重する姿勢を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 聞 | 読 | 話[や] | 話[発] | 書 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | Unit 1<br>What can happen in one second?<br>［題材内容］<br>学校新聞の記事などを通して，1秒間に世界で起こっていることについて学ぶ。<br>［言語材料］<br>受け身／不定詞／動名詞<br>［言語活動］<br>1秒間にどのように世界が変化しているかを説明する。<br>［言語の働き］<br>聞き直す／回答する | ・受け身，不定詞，動名詞<br>・Enrich I　Unit1<br>・一人１台端末の活用 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ・疑問詞やつなぎ言葉について，プレゼンテーションのスタイルに対応した適切な用法を理解している。<br>・身のまわりや世界で起きている話題について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，情報や自分の考えなどを，聞き手にわかりやすく話して伝えている。<br>・身のまわりや世界で起きている話題について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，情報や自分の考えなどを，聞き手にわかりやすく話して伝えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | Unit 2<br>What do superstitions mean to you?<br>［題材内容］<br>機内誌の記事などを通して，さまざまな国や地域で信じられている迷信について学ぶ。<br>［言語材料］<br>助動詞＋受け身／現在完了進行形<br>［言語活動］<br>迷信についての自分の価値観を述べる。<br>［言語の働き］<br>驚く／興味や関心を表す | ・助動詞＋受け身，現在完了進行形<br>・Enrich I　Unit2<br>・一人１台端末の活用 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ・条件節と帰結節などを用いて，迷信や信念について，読み手が誰であるかを意識しながら，要点を書いたり，具体例を提示できる。<br>・ラッキーアイテムを紹介するために，身のまわりの迷信や信念について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，読み手を意識して要点や具体例を書いている。<br>・ラッキーアイテムを紹介するために，身のまわりの迷信や信念について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら | ○ | ○ | ○ | 13 |
| | 定期考査 | | | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | Unit 3<br>How can we promote sustainability?<br>［題材内容］<br>Eメールのやり取りなどを通して，ゼロ・ウェイスト政策について学ぶ。<br>［言語材料］<br>分詞の形容詞用法／関係代名詞<br>［言語活動］<br>世界中で人々がどのようにごみに関する問題に取り組んでいるかを説明する。<br>［言語の働き］<br>誘う／断る | ・分詞の形容詞用法・関係代名詞<br>・Enrich I　Unit3<br>・一人１台端末の活用 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ・分詞の形容詞用法や関係代名詞（省略の形を含む）などを用いて，フォーマルな文体で，目的を伝えたり質問をしたりする技能を身に付けている。<br>・フォーマルなEメールを書く場面で，環境保全に関する内容について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書いたりしている。<br>・フォーマルなEメールを書く場面で，環境保全に関する内容について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書いたりしようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | Unit 4<br>What can we learn from native Hawaiians?<br>［題材内容］<br>博物館のパンフレットなどを通して，ハワイ語やハワイ文化の歴史について学ぶ。<br>［言語材料］<br>現在完了形の受け身／過去完了形<br>［言語活動］<br>自分にとって大切な言葉や文化について述べる。<br>［言語の働き］<br>迷いを伝える／アドバイスする | ・現在完了形の受け身，過去完了形<br>・Enrich I　Unit4<br>・一人１台端末の活用 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ・事実と意見を分けたり，ポイントを絞って伝えたりするなど，スピーチのスタイルに対応した適切な方法を理解している。<br>・スピーチの場面で，身のまわりの言葉や文化に関する話題について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，情報や自分の考えなどを，聞き手にわかりやすく話して伝えている。<br>・スピーチの場面で，身のまわりの言葉や文化に関する話題について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，情報や自分の考えなどを，聞き手にわかりやすく話して伝えようとしている | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | 定期考査 | | | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | Unit 5<br>Why do people tell each other stories?<br>［題材内容］<br>ウェブの記事などを通して，自分が体験したことを聞き手に語る際の秘訣を学ぶ。<br>［言語材料］<br>SVOC［分詞］／関係副詞how／助動 | ・SVOC［分詞］，関係副詞how，助動詞の過去形<br>・Enrich I　Unit5<br>・一人１台端末の活用 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ・体験談を伝えるために，適切な表現や方法を理解している。<br>・スピーチの場面で，身のまわりの出来事について，体験した内容を基に，聞き手を引き付けながら，わかりやすく自分の考えや気持ちを話して伝えている。<br>・スピーチの場面で，身のまわりの出来事について，体験した内容を基に，聞き手を引き付けながら，わかりやすく自分 | ○ | ○ | ○ | 15 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 詞の過去形<br>［言語活動］<br>互いに話を伝え合う理由を述べる。<br>［言語の働き］<br>心配事を伝える／援助を申し出る | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | の考えや気持ちを話して伝えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | Unit 6<br>What are the qualities of a good leader?<br>［題材内容］<br>オンライン百科事典の伝記などを通して，優れたリーダーシップをもつ人物の経歴を学ぶ。<br>［言語材料］<br>分詞構文／関係副詞where[when/why]<br>［言語活動］<br>優れたリーダーが備えている資質を説明する。<br>［言語の働き］<br>返答する／相づちを打つ | ・分詞構文，関係副詞where[when/why]<br>・Enrich Ⅰ Unit6<br>・一人１台端末の活用 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ・ある人物について，時系列で書いたり，略歴を紹介したりしながら，関連のある情報を簡潔かつ正確に原稿に書ける。<br>・ある人物を紹介するために，関連のある情報を時系列で書いたり，略歴を紹介したりして，読み手を意識しながら簡潔かつ正確に紹介文を書いている。<br>・ある人物を紹介するために，関連のある情報を時系列で書いたり，略歴を紹介したりして，読み手を意識しながら簡潔かつ正確に紹介文を書こうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | 定期考査 | | | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2学期 | Unit 7<br>Where will you live in the future?<br>［題材内容］<br>英字新聞の記事などを通して，今住んでいる場所を選んだ理由やそこでの暮らしの魅力について学ぶ。<br>［言語材料］<br>原形不定詞／仮定法過去完了／過去完了進行形<br>［言語活動］<br>人々がどのような理由で住む場所を決めているのかを説明する。<br>［言語の働き］<br>反論する／同意する | ・原形不定詞，仮定法過去完了，過去完了進行形<br>・Enrich Ⅰ Unit7<br>・一人１台端末の活用 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ・場所に関連した語いや表現を用いるなどして，将来住みたい場所についてのエッセイを書ける。<br>・将来住みたい場所についての主張を展開するために，パラグラフの構成を意識して書いたり，本論で理由を具体例とともに述べたりして，読み手を意識しながら首尾一貫性のある原稿を書いている。<br>・将来住みたい場所についての主張を展開するために，パラグラフの構成を意識して書いたり，本論で理由を具体例とともに述べたりして，読み手を意識しながら首尾一貫性のある原稿を書こうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | Unit 8<br>How do cultures and traditions affect teens' lives?<br>［題材内容］<br>ウェブの記事などを通して，世界中のさまざまな成人の儀式について学ぶ。<br>［言語材料］<br>関係代名詞what／関係代名詞の非制限用法<br>［言語活動］<br>日常生活について，外国のティーンエイジャーと自分との類似点や相違点を説明する。<br>［言語の働き］<br>習慣を表す／共感する | ・関係代名詞what，関係代名詞の非制限用法where[when/why]<br>・Enrich Ⅰ Unit7<br>・一人１台端末の活用 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ・関係代名詞what，関係代名詞の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。<br>・プレゼンテーションの場面で，外国の高校生の日常生活について，自分の生活との類似点や相違点に触れながら，メモを活用して，その概要をわかりやすく話して伝えている。<br>・プレゼンテーションの場面で，外国の高校生の日常生活について，自分の生活との類似点や相違点に触れながら，メモを活用して，その概要をわかりやすく話して伝えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | 定期考査 | | | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3学期 | Optional Reading 1<br>Amelia Bedelia<br>［題材内容］<br>雇い主の指示を読み違えて勘違いの行動をとってしまう愉快なハウスキーパーの物語。登場人物の行き違いを読み取る。 | ・概要や詳細，作者のユーモア（動詞・動詞句の読み取り間違い），登場人物の行き違いを読み取れる。<br>・Enrich Ⅰ Optional Reading 1<br>・一人１台端末の活用 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ・ストーリーで用いられている語，句，文の意味を理解している。<br>・自分の考えをまとめるために，ストーリーの内容について，登場人物の心情を捉えている。<br>・ストーリーへの理解を深めるために，登場人物の特徴を捉えたうえで，それぞれが経験したエピソードや心情についてある程度まとまった時間を用いて，話して伝え合おうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 11 |
| | Optional Reading 2<br>Information Please<br>［題材内容］<br>電話がまだ珍しかった時代。当時子供だった語り手と，親切な電話交換手の心の交流を描く感動物語。登場人物の心情を読み取る。 | ・語，句，文の理解を基に，ストーリーの内容について，概要や詳細，登場人物の心情を読み取る技能を身に付けている。<br>・Enrich Ⅰ Optional Reading 2<br>・一人１台端末の活用 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ・語や句，文における強勢，イントネーションや区切りを意識して音読できる。<br>・自分の考えをまとめるために，ストーリーの内容について，登場人物の心情を捉えている。<br>・ストーリーへの理解を深めるために，登場人物の特徴を捉えたうえで，それぞれが経験したエピソードや心情についてある程度まとまった時間を用いて，話して伝え合おうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10<br>合計<br>140 |